あとがき

この冊子を手に取って下さり、ありがとうございます。

これを読んで下さったあなたは、依存症の方やご家族の支援にお困りではないでしょうか。 私たちは、あなたと同じように、悩み戸惑いながら依存症に関する相談に取り組んでき ました。

今回、これまでの支援経験を振り返ったり、対応場面を具体的に想定することで、どの ような冊子が使いやすいかを考え、推敲を重ねてこのマニュアルを作成しました。

依存症の方への支援は難しくて時間がかかります。一生懸命努力しても先が見えなく なってしまうこともあります。しかし、どんなに大変でも経験を積み重ねることは支援者 自身の成長につながります。

この冊子を活用していただくことで、支援者として共に成長していけることを願ってい ます。

プロジェクトチームメンバー一同

援助者の変化のプロセス



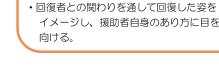
1 援助者としての限界の直面

援助者としての役割意識・義務感 からクライアントを回復させようと 試行錯誤を繰り返すが、回復させる ことができずに息詰まる。



3 援助者自身の変化

- 援助者としてできる事、できない ことの区別が明確になる。
- 援助の役割が明確になることで、 援助者の具体的な行動が変わり始める。
- 援助者自身の課題を自覚し、取組み 始める。



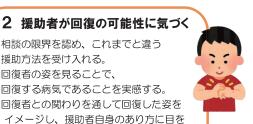
向ける。

・相談の限界を認め、これまでと違う

回復する病気であることを実感する。

援助方法を受け入れる。 ・回復者の姿を見ることで、

病気を乗り越えることは、人間的成長に つながると捉え、回復者との関わりや、 自らもサポートを受け続け、お互いの 成長を喜ぶこと、援助者個人としての 価値観を変える。







松下哲也「アルコール依存症に関わる援助者の変化の プロセスに関する研究~アルコール依存症と家族の回 復のプロセスを基にして~」より一部改変

プロジェクトチームメンバー

所 属		氏 名	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 薬物依存研究部診断治療開発研究室長		近藤あゆみ	0	0	0
原宿カウンセリングセンター		高橋が都絵	0	0	0
国立市健康福祉部 しょうがいしゃ支援課 相談係 係長		加藤 尚子	0	0	0
多摩総合精神保健福祉センター 広報援助課 相談担当 課長代理		谷合 知子	0	0	
多摩総合精神保健福祉センター 広報援助課 相談担当 課長代理		山田 俊隆			0
多摩立川保健所	地域保健推進担当課長	河西あかね	0	0	0
	保健対策課長	大石 修	0	0	
	保健対策課長	吉川秀夫			0
	保健対策課 地域保健第一担当	村井やす子	0	0	0
	保健対策課 地域保健第一担当	中嶋真友子	0		
	保健対策課 地域保健第一担当	吉原恭子		0	0
	保健対策課 地域保健第一担当	山崎実咲		0	0
	保健対策課 地域保健第一担当	佐藤麻理子			0
	保健対策課 地域保健第一担当	松原 悠			0
	保健対策課 地域保健第二担当	西山 直美	0	0	
	保健対策課 地域保健第二担当	栗原 玲子	0	0	0
	保健対策課 地域保健第二担当	松下 哲也	0	0	
	保健対策課 地域保健第二担当	高木 賢一	0		
	保健対策課 地域保健第二担当	石川里菜		0	0
	保健対策課 地域保健第二担当	山川 哲也		0	
	保健対策課 地域保健第二担当	吉岡知奈美			0

(敬称略)

薬物依存症者をもつ家族を対象とした個別面接の進め方 - 支援者用マニュアルー

平成29年(2017年)12月発行

作成 東京都多摩立川保健所

監修 近藤あゆみ 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 高橋 郁絵 原宿カウンセリングセンター

発行 東京都多摩立川保健所 東京都立川市羽衣町二丁目63番 電話 042-524-5171

印刷 株式会社ウィザップ